

# 歴史講座

～豊臣秀頼と

片埜神社造営について～

慶長7年(1602)11月、片埜神社は豊臣秀頼に社殿の修造がなされます。この頃、たいへん多くの寺社が秀頼によって復興を遂げますが、それは徳川家が、寺社の造営費用を秀頼に負担させることで豊臣家の財力を削減させるための事業だったという説があります。この説に従えば、片埜神社の修造も、徳川家の施策の一環とみなすこともできますが、果たしてそう評価できるでしょうか。

本講座では、当該期の寺社造営事業とは何かを見直し、かつ秀吉・秀頼によるさまざまな寺社造営プロセスに着目することで、片埜神社再興の意義について再検討を試みます。

■日時 2023年10月21日(土) 10:00～11:30

■場所 さだ生涯学習市民センター 2階 第1集会室

■講師 明石市立文化博物館 学芸員 工藤克洋氏

■定員 20名

■参加費 無料

■申込 2023年10月1日(日)10:00～

電話・FAX・窓口にて受付

●お問い合わせは

電話 050-7102-3133 FAX 072-831-5337

住所 校方市北中振 3-27-10

